

まじゅん

編集責任者 西銘 隆（田崎病院）
編集者 石川 淳（あらた舎）
比嘉 哲也

沖縄県精神保健福祉士協会 91号

E-Mail oki.psw@gmail.com

2015年4月定例会報告

日時：平成27年4月25日（土）10時～12時
場所：沖縄県総合福祉センター 西棟3階 第一会議室
テーマ：『若年性認知症の現状と支援』

講師：金武 直美氏

公益社団法人 認知症の人と家族の会沖縄県支部 代表
琉球大学医学部保健学科高齢期看護学 非常勤講師

参加数：24名



報告者：嬉野が丘サマリヤ人病院 山川ゆかり

【概要】

認知症の人と家族の会沖縄県支部は、「高齢者とは問題が異なる」「若年性の人向けのサービスがない」「仲間とつながりたい」との家族の声から、H24年に若年性認知症のつどい立ち上げ、H26年に支部化した全国組織である。県内では、若年性認知症に特化した家族会と5つの地区会、別組織の「認知症介護を支えるかけはしの会」が活動している。

家族の会沖縄県支部では、平成25年度県委託事業として「若年性認知症実態調査（期間：平成25年11月～平成26年2月）」を行った。家族の状況では「介護を始めてストレスや出費が増えた」、「時間がない」等の回答が多く、男性は女性に比べ困りごとの発信が難しい傾向も見られた。また介護者が育児・仕事を抱えている、高齢の親や未成年の子が介護者などの現状もあり、当事者・家族の生活全体の支援が必要と言える。そして確定診断に至るまで医療機関を転々とする、診断後必要な情報が届いていない方も少なくはない。

働き盛り世代の発症は、早急な経済的支援が求められ、診断直後の情報提供（自立支援医療、障害年金・手帳）が行われるよう、医師とPSWの院内連携が必要である。そして、ぜひ家族会へ繋いで欲しい。

（調査報告書は、県HPからダウンロード可）

【感想】

金武氏の講義は何度か拝聴しているが、毎回「今まで私は何をやってきたのだろう」という無力感と反省の連続、PSWの役割の重要性を再認識させられる内容である。

同調査時に所属機関のケースを調べた所、障害年金未申請が数件、中には65歳直前の方もおり電話や手紙で急ぎ対応をした。ここ1、2年で認知症に関する情報は普及しつつあるが、支援側の積極的な情報発信、当事者・家族が自発的に情報を得られる配慮・工夫も院内外で必要であると痛感している。私自身、若年性認知症の方の支援経験はほとんどなく戸惑いも多いが、各機関と連携しできることから始めたい。

若年性認知症に特化した支援機関がない現状で、認知症カフェの運営、就労支援も先駆けて行う等同会の存在は支援者にとっても心強い。同会の一層の発展及び支援体制の充実のためにも、個人又は法人会員の入会も皆様にご協力頂ければ幸いである。

報告者：医療法人タピック 宮里病院 西口武志

【概要】

若年性認知症は 65 歳未満で発症する認知症の総称であるが、働き盛りに発症する本人・家族の経済的・心理的衝撃は大きい。今回、若年性認知症の現状を学び、我々が身につけるべき支援について考える

【感想】

今回のテーマが若年性認知症の現状と支援という、非常に興味深く、また現在関わる機会も多い事から、すぐく久しぶりに参加させて頂きました。高齢な方の認知症相談は進められるのですが、正直、相談を受けても若年性認知症の方の支援をどのように進めていけばいいのかわからない点も多く、中途半端な関わりしか出来ていなかった自身の現状もありました。今回の講師、金武先生が若年性認知症の支援に力を入れている事は以前より知っていましたが、非常に熱心に真摯に取り組まれている活動内容が今回の公演からもひしひしと伝わってきましたし、当業者や家族会の力は大きいと感じました。また医療機関でもなかなか支援がいき届かない若年性認知症の方々への支援を、我々、精神保健福祉士が意識を持って取り組む必要がある事を改めて実感した次第です。私自身も認知症の人と家族の会：北部地区会に携わっています。これからも高齢の認知症の方は勿論、若年性認知症の方への支援にも力をいれて行きたいと思えます。



【事務局だより】 (事務局長 唐木)

梅雨のうっとうしい時期ですが、みなさま元気にお過ごしでしょうか。

さて、5月23日(土)には当協会の定時総会が開催され、多数の会員に出席(出席者45名、議決権行使153名、委任状53名、合計251名)していただきました。総会においては、長野敏宏先生(御荘病院院長・ハートinハートなんぐん市場理事)の大変興味深い講演の後に、平成26年度事業報告、平成26年度収支決算報告、事務局移転及び定款の変更、平成27年度事業計画案、平成27年度予算案についての議案を無事承認いただきました。

今年度も、総会で承認を得た事業計画案を基に様々な事業を行う予定です。まず、6月13日(土)の定例会では、県立広島大学の松宮透高氏をお招きし、『メンタルヘルス問題のある親による子供養育世帯への支援(仮)』のテーマで講演を予定しています(沖縄県総合福祉センター501教室、午後1時から午後4時30分)。

今後も当協会の運営について、会員のみなさまの積極的な参加、協力をお願いします。